

## 携帯端末を用いたユビキタス/グリッド環境の協調的モニタリングシステム

開発者：釘井 睦和、谷口 義樹

ユーザも積極的に協力・参加してグリッドを運用管理する『**環視システム**』

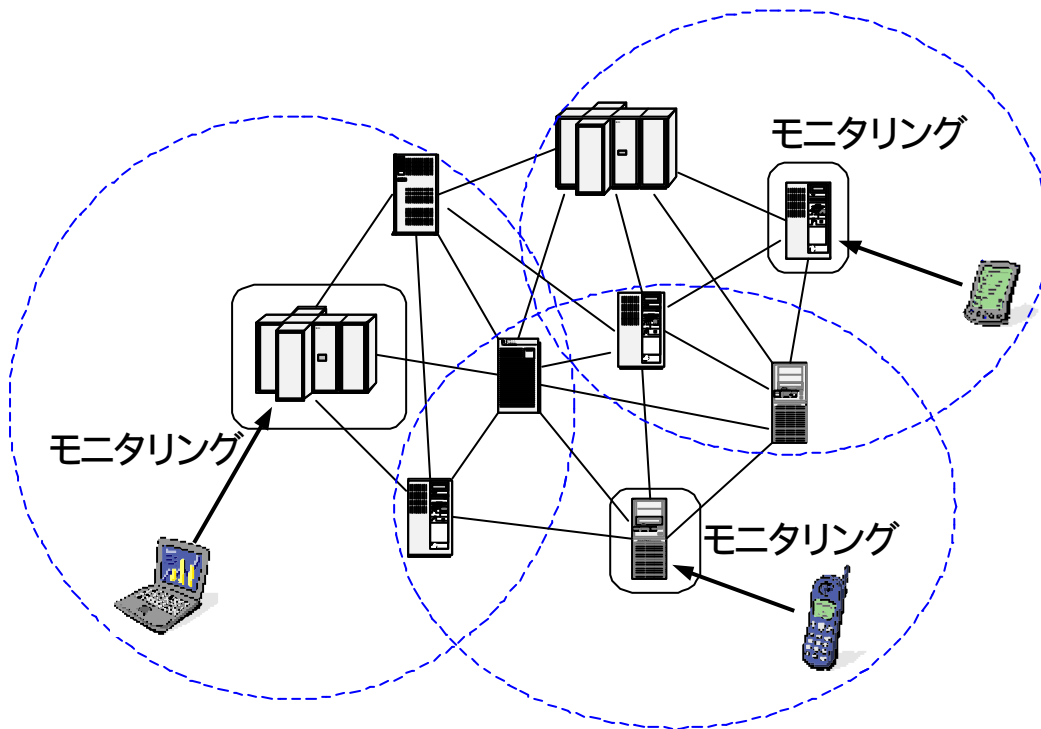


図 1 環視の概念

### ～ 監視から環視へ ～

- 従来の『**監視**』はサーバ管理者の負担が大きい
- 管理者の監視に加えて、多くのユーザも協力・参加した『**環視**』により、大規模なグリッド環境も円滑に運用管理
- 携帯端末の利用によりいつでもどこでもモニタリング可能

表 1 主要な収集データ

静的情報	動的情報
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホスト名</li> <li>・IPアドレス</li> <li>・OSの種類</li> <li>・OSのバージョン</li> <li>・CPUの種類</li> <li>・CPU数</li> <li>・CPUクロック数</li> <li>・スワップ領域</li> <li>・総メモリ量</li> <li>・総ハードディスク容量</li> <li>・総スワップ領域容量</li> <li>・管理者メールアドレス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロードアベレージ</li> <li>・メモリ使用量</li> <li>・メモリバッファ</li> <li>・メモリキャッシュ</li> <li>・使用スワップ領域</li> <li>・ハードディスク使用量</li> <li>・トッププロセス</li> <li>・トッププロセスユーザ</li> <li>・時刻</li> </ul>

- ・ 動的な階層構造を構成する P2P フレームワークである **DNAS** ( Distributed Network Application System ) とユーザ端末上で動作する環視ソフトウェアにより構成
- ・ 環視ソフトウェアは、**PC** 版、**PDA** 版に加えて**携帯端末** ( NTT ドコモ社の i モード ) に対応

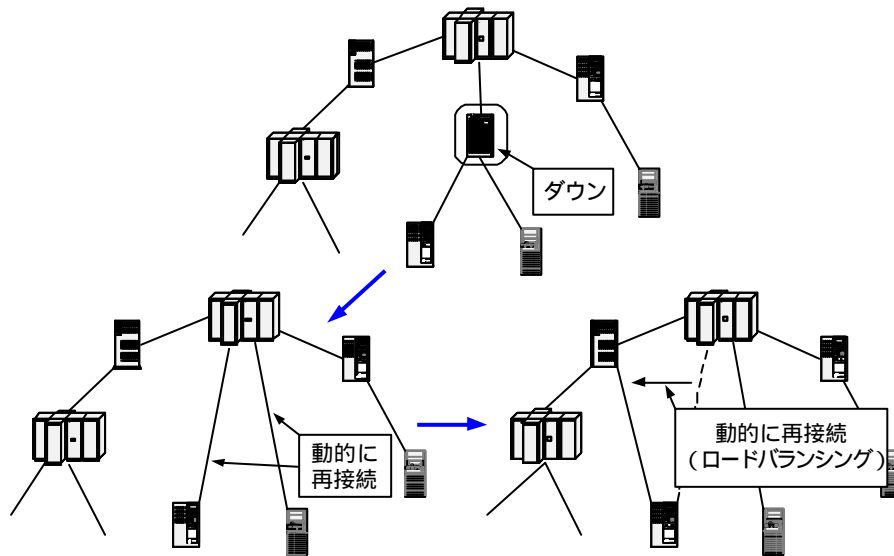


図 2 DNAS の特長 ( 動的に再構成可能な論理的ツリー構造 )

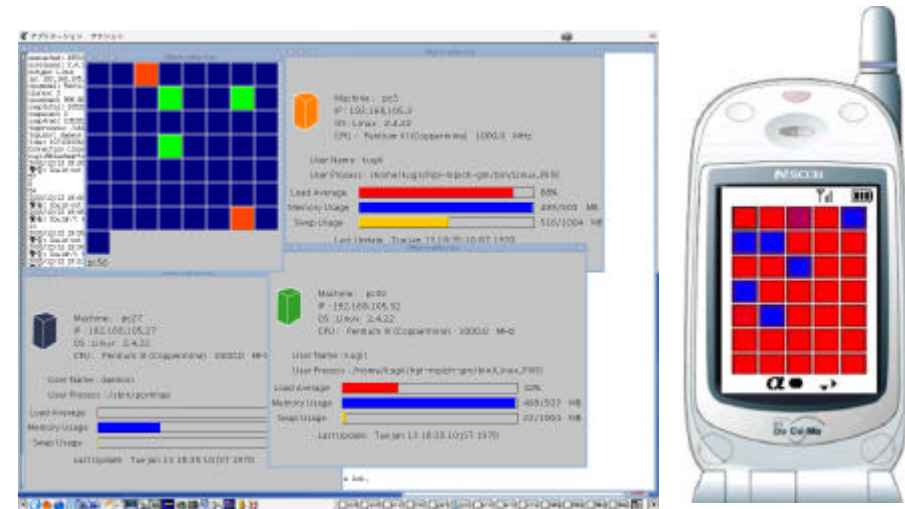


図 3 環視ソフトウェアの表示例